

今日のトピック 自動車業界の2018年度4-12月期業績は？ 4-12月期の連結営業利益は、トヨタは増益、ホンダと日産は減益

自動運転、電動化など次世代技術に向け、研究開発投資や企業提携などを活発化

- 自動車大手3社の2018年度4-12月期の連結売上高と連結営業利益はトヨタは増収増益、ホンダと日産は増収減益となりました。トヨタはアジアや欧州で販売好調であったほか、コスト低減などから増収増益となりました。ホンダは北米での販売奨励金の増加、日産は一時費用などから増収ながら減益となりました。
- トヨタグループの主要8社の4-12月期の連結決算は、トヨタ向けの好調などから8社とも増収となりましたが、中国市場の減速と原材料高の影響や、次世代技術への先行投資負担などから8社とも営業減益となりました。
- 通期見通しについては、米中貿易摩擦の激化への懸念などから総じて慎重な見通しとなっています。完成車、及び自動車部品各社ともにCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれる次世代技術に向け、研究開発投資や企業提携などを活発化しています。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円/米ドル)
	18年4-12月期	19年3月期見通し	18年4-12月期	19年3月期見通し	
トヨタ自動車	224,755 (+3)	295,000 (+0)	19,380 (+9)	24,000 (+0)	110
ホンダ	118,395 (+3)	158,500 (+3)	6,840 (▲3)	7,900 (▲5)	111
日産自動車	85,784 (+1)	116,000 (▲3)	3,137 (▲14)	4,500 (▲22)	110.6

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		18年度為替想定 (円/米ドル)
	18年4-12月期	19年3月期見通し	18年4-12月期	19年3月期見通し	
デンソー	39,797 (+8)	53,700 (+5)	2,435 (▲23)	3,800 (▲8)	110
アイシン精機	30,134 (+5)	39,800 (+2)	1,614 (▲13)	2,100 (▲17)	110
豊田自動織機	16,298 (+11)	22,000 (+10)	979 (▲15)	1,350 (▲8)	110
豊田通商	51,060 (+5)	—	1,652 (+12)	2,130 (+17)	110
ジェイテクト	11,257 (+7)	15,000 (+4)	488 (▲12)	690 (▲15)	110
トヨタ紡織	10,468 (+1)	14,000 (+0)	437 (▲12)	580 (▲19)	110
豊田合成	6,229 (+5)	8,250 (+2)	218 (▲17)	380 (+8)	111
愛知製鋼	1,893 (+9)	2,551 (+8)	79 (▲19)	100 (▲15)	111

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車は米国会計基準、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、豊田合成は国際会計基準。

(注2) 豊田通商は売上高見通しは未公表。

(注3) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は18年度の円/米ドル想定レート。

(出所) 各社決算資料データやQUICKなどのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2018年11月26日 注目される『自動車部品』企業の再編の動向
2018年11月 5日 新たな『モビリティサービス』への戦略的提携

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。